

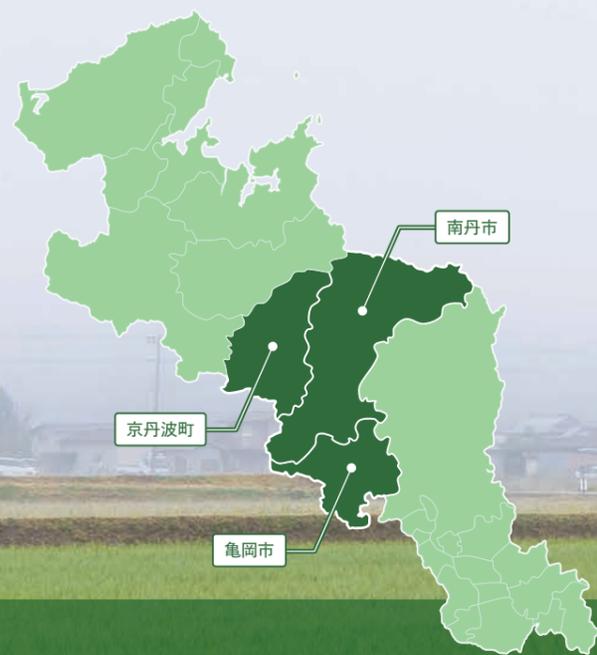
本当の「緑」を、 ともに発見しませんか？

全国都市緑化フェアは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、1983年から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典です。

第43回となる全国都市緑化フェアは京都丹波が舞台。

亀岡市、南丹市、京丹波町、京都府がその地域色豊かな環境や風景、文化を発信し、訪れた人々とともに新たな魅力を発見してゆく、大規模なイベントとなります。

ここ京都丹波にしかない、緑のこえを一緒に探しましょう。



京都丹波とは？

京都府の中部に位置する亀岡市、南丹市、京丹波町のエリアを指し古代の「丹波の国(たんばのくに)」に由来する名称。豊かな自然環境、優れた食材、伝統芸能や祭りなど、「世界で一つ」のキラリと光る地域資源が豊富な地域です。秋から春にかけて発生する「霧」は、京都丹波を象徴する風景として知られています。



京都丹波みどりの里まつり (第43回全国都市緑化フェアin京都丹波)とは？



今回のフェアは「丹念に手入れされてきた京都丹波という名の広大な庭園にゲストを招待し、豊かな実りを披露するフェア」。新しく何かを作り出すのではなく、もともとある自然や暮らしというキャンパスに、食やアートという彩りを添えて、訪れる人々を温かく迎え入れ、その価値を未来へとつなぐ架け橋となるフェアを目指します。



1 テーマは「食農と環境そしてアートで輝く『京都丹波』」

もともとある豊かな里山や農地といった自然を活かし、それらに触れることでその価値を再認識していくというアプローチをとっています。京都丹波全体を会場に見たて、伝統的な自然景観とそこで育まれた豊かな食文化、さらには芸術家の作品を掛け合わせた魅力を発信します。



2 ありのままの京都丹波

京都丹波を優しく包み込む幻想的な丹波霧と豊かな水系が形作る山、川、水田、畑などが一体となった日本の原風景ともいえる風土そのものを展示の根幹に据え、先人が守り育ててきた自然と人々の暮らしの調和をありのままに披露します。



3 アートによる空間演出

京都丹波に関わりを持つ多くの芸術家やデザイナーの協力を得ながら、より花と緑と芸術が調和した空間を創出します。



4 拠点ごとの個性的で多様な体験空間

天然記念物アユモドキとの共生を図るオーガニックビレッジパーク、約800万本が咲き誇るコスモス園、ヘビウリの緑のトンネルなど各フェア拠点で地域資源を活かした多様な体験を用意します。



5 地方の小規模自治体が連携して開催する新たな試み

2市1町合わせて人口約13万人の京都丹波で自治体同士が連携して開催することで、規模が小さくても地域本来の魅力を活かして開催することができることを示し、地方創生のモデルケースとなる先進的な取り組みを目指します。



5つの 拠点を紹介

美しい花々とともに、京都丹波みどりの里まつりは、
アートや食農、環境、里山の暮らしを五感で体感できる祭典。
京都丹波エリアの魅力や多彩な催しを楽しみ尽くそう！



亀岡運動公園および周辺



生まれ変わったステージで放つ
渾身のパフォーマンス
リニューアルしたステージで、様々な熱い
パフォーマンスが繰り広げられます！ダンス
や音楽ライブなど、渾身のステージを
お見逃しなく。



世界で活躍する庭園デザイナーが贈る
メインガーデン
チェルシー・フラワー・ショー金賞13回の
偉業を達成した庭園デザイナー、石原和
幸氏。世界最高峰の巨匠が、至高のランド
スケープを創造します。

みんなで創る、彩りの競演
企業や自治体などが出展する庭園や花壇、
寄せ植え、ハンギングバスケット、壁面緑化
など、多様な作品が公園を華やかに彩ります。

京都・亀岡保津川公園および周辺



日本の原風景とアートの共鳴
放置竹林の竹を活用したアート作品や農
小屋アートなど、里山の自然と調和した作
品を多数設置。日本の原風景がアートと
共鳴し、訪れる人々にかつてない感動を
お届けします。



希少種アユモドキと共存する公園
この拠点は、国の天然記念物アユモドキ
が息づく特別な場所。ピオトープや共生
ドームを設置し、多様な生物と共に生きる
「共存」と「いのち」の尊さを学べます。

青空の下の里山マルシェ
京都丹波の豊かな大地で育まれた新鮮な
農産物が集まります。採れたての里山の恵
みを青空の下で味わい、心も体も満たさ
れる特別なマルシェです。

園部公園および周辺



山頂公園
「京都の自然200選」にも選定されている
小麦山の山頂を、芝生広場として整備します。
山頂からは京都丹波の眺望が楽しめます。



日本最後の城(園部城跡&VR体験)
日本で最後に築城された園部城。巽櫓・
櫓門(現在は園部高校の校門)・番所は
京都府暫定登録文化財。VR体験で往時の
面影も楽しめます。

全国養生大会&マルシェ
日本養生普及協会が毎年開催する全国大会。京都丹波の
食材を活かして、食と健康の関係性を学びながら楽しむ
マルシェも同日開催します。松茸も出るかも！

わち山野草の森および周辺



山野草
約900種類の山野草や花木などが息づき、四季折々に美しい花・風景を満喫することができます。素朴な草花や花木などを見ながら散歩して、心身ともにリフレッシュしていただけます。

緑のトンネル
京丹波町産木材で作られたみどりのトンネル。トンネルの周りには、たくさんの植物が植栽されています。そのなかでも、「カンアオイ」「ヒメカンアオイ」は京都府の絶滅危惧種・天然記念物に指定されている「ギフチョウ」の幼虫の食草となっています。

森の展示室
森の中で記憶にふれ、その先の未来の時間を想像する。昔より続く、つくること、色、形。過去、未来、そして現在へまわる空想時間を表現したアート作品がわち山野草の森の中をステージに展開されています。初の秋開催です。

京都府立丹波自然運動公園および周辺



京丹波マルシェ
毎年京丹波町で開催される、食をテーマにしたイベント。京丹波ならではの食の魅力をもっと味わえます。期間中はマルシェのほか、食にまつわる催しや多彩なイベントもお楽しみいただけます。



菊の展示
毎年10月下旬頃から開催している菊花展。2026年は緑化フェアにあわせて10月初旬から展示を行います。公園と日本菊花全国大会で二連覇した須知高校の菊をはじめ、菊愛好家や地域の皆さまが丹精込めて育てた色とりどりの菊をお楽しみください。



京都丹波みどりの里まつりを一緒に盛り上げませんか？

「京都丹波みどりの里まつり」ではフェア全体を盛り上げるための支援・サポートを募集しています。

応援メッセージ募集 ～みんなで咲かせる花言伝～

京都丹波みどりの里まつりをきっかけに「こんな街になったらいいな」や「フェアへの期待」など、皆さまの“花言伝”(想い)を募集しています。多くの花言伝で京都丹波みどりの里まつりを彩りましょう！

応募期限	2026年11月8日まで
画像の使用用途	ケーブルテレビCM・フェア公式SNS・フェア広報を目的とする自治体のSNS・PRブース・広報誌・その他京都丹波みどりの里まつりに関する広報・広告に使用します。

申込方法 応募条件 右の二次元バーコードから応募条件および注意事項をご確認のうえ、ご応募ください。



詳細はこちら

ボランティア募集 くわしくは、2026年5月に公式ホームページでお知らせします。

フェア開催期間中、各フェア拠点でサービスなどの提供にご協力いただけるボランティアスタッフを募集します。

募集開始	2026年5月頃	申込方法	入力フォームまたは書類での申し込み
活動場所 (フェア拠点)	① 京都・亀岡保津川公園およびその周辺 ② 亀岡運動公園およびその周辺 ③ 園部公園およびその周辺 ④ わち山野草の森およびその周辺 ⑤ 京都府立丹波自然運動公園およびその周辺	応募条件	2026年4月1日時点で満15歳以上の人 ※高校生又は18歳未満の人は保護者の同意が必要になります。
活動期間	2026年9月18日～11月8日	活動内容	案内所でのチラシなどの配布・会場内の巡回・清掃・水やり・除草などを予定しています。

交付金について くわしくは、2026年4月に公式ホームページでお知らせします。

にぎわい事業交付金

地域を元気にしてフェアを盛り上げ、京都丹波の魅力を訪者が体感・体験できる「交流イベント」に交付します。

2025年度の取組:15団体
地元食材のマルシェや竹細工ワークショップなど

おもてなし風景交付金

美しい景観づくりでフェアを盛り上げ、京都丹波の魅力を訪者が満喫できる「花の植栽」に交付金を交付します。

2025年度の取組:20団体
コスモス・ヒガンバナの植栽など

協賛者募集

京都丹波みどりの里まつりの開催趣旨にご賛同いただける企業・団体・個人からのご協賛を募集しています。いただいたご協賛は、フェアにおける各種事業やPRに活用いたします。

詳細はこちら

